



# 渋川市の都市計画に関する計画・構想を策定しました ～集約型都市の実現を目指して～

渋川市 建設交通部 都市政策課

渋川市は、人口減少社会に対応した集約型の都市構造への転換を目指し、都市計画に関する計画や構想の検討を進めてきました。この度、「渋川市立地適正化計画」をはじめとした各計画・構想を策定しました。

## ■ 渋川市立地適正化計画

本市の中心部である渋川市役所・渋川駅周辺を「中心拠点」、各地区の行政センター周辺と八木原駅周辺を「生活拠点」または「観光拠点」に位置付けました。

また、各拠点を結び、将来にわたり一定以上のサービス水準を確保する「基幹的な公共交通軸」と、周辺地域から各拠点へアクセスできる「地域内交通」を設定し、公共交通の効率的なネットワーク化を図ります。

さらに、渋川市役所・渋川駅周辺と八木原駅周辺に「居住誘導区域」、渋川市役所・渋川駅周辺の居住誘導区域内に「都市機能誘導区域」を設定し、まちのまとまりの形成を図ります。

## ■ 渋川都市計画地区計画（渋川駅西側地区、八木原駅周辺地区）

渋川駅西側地区に、本市の玄関口としてふさわしい健全な地区の形成を図るため、また、八木原駅周辺地区に人口密度を維持する良好な居住環境の形成を図るため、各地区にまちづくりのルールとなる地区計画を定めました。

なお、計画の実効性を確保するため、各地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例を併せて制定・施行しました。

## ■ 渋川駅周辺地域再生構想

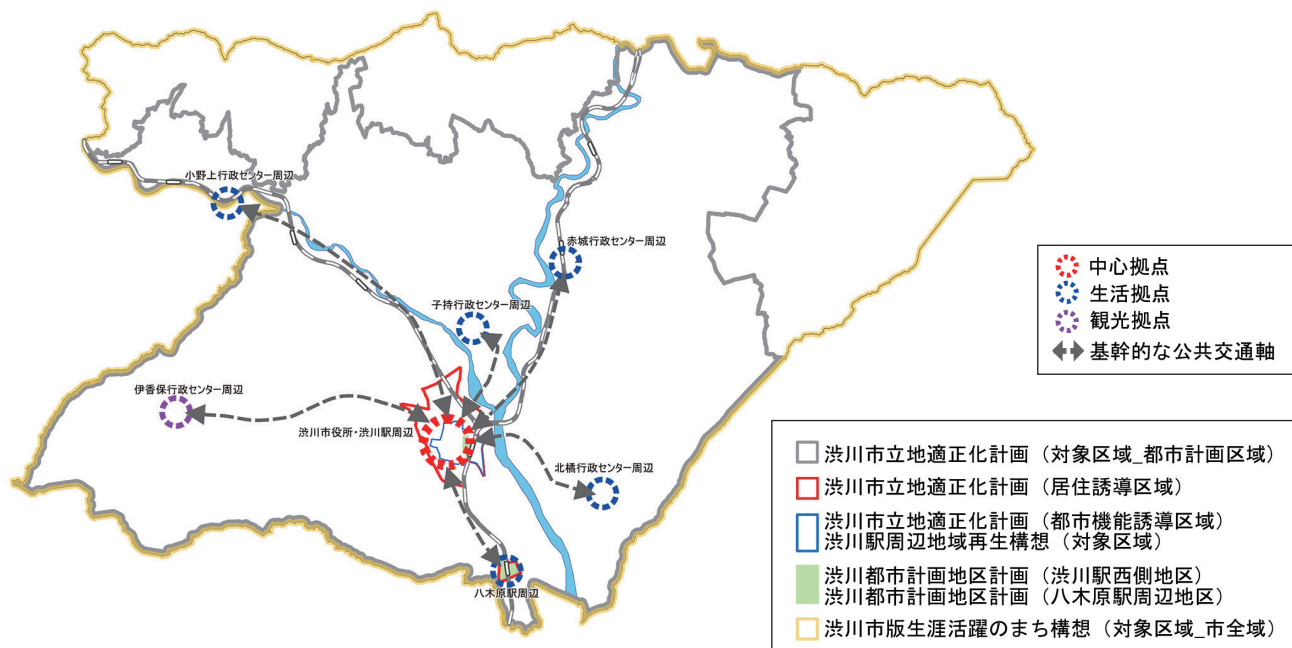
渋川駅周辺地域の再生を図るため、都市機能誘導区域を対象エリアとして、「まちのまとまりづくり」及び「まちなかのにぎわいづくり」の基本方針を定めました。

## ■ 渋川市版生涯活躍のまち構想

市民の個性や多様性が尊重され、生涯にわたり様々なステージで役割や生きがいを持って活躍できる「全世代・全員活躍のまち」を実現するため、市全域を対象として、「住まい」、「健康・福祉」、「活躍」、「しごと」、「交流・居場所」、「都市基盤の整備」を切り口とした生涯活躍のまちづくりの基本方針を定めました。

## ■ さいごに

今後、これらの計画・構想を基本として、行政だけでなく、市民、都市再生推進法人、事業者などが連携してまちづくりを進めていくことで、持続可能な集約型都市の実現を目指します。



本市の目指すまちづくりの都市像

